

第51回 全日本中学生ホッケー選手権大会 確認事項《チーム用》

TD(テクニカルデリゲート): 馬場 治男 中学校部会事務局長: 久保 克敏



今大会は、新型コロナウイルス感染予防のため感染予防対策を万全に行い、無観客により開催いたします。

例年通りとは違うことも多々あり、参加する皆様方にはご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆大会スケジュール

8月 3日(火)《締め切り》 参加申込み…メールにて大会実行委員会へ

8月 6日(金)～ 健康観察開始(体温・咳・のどの痛み・味覚障害)

8月 9日(月) 10:00～ **【組合せ抽選会(公開抽選)】** 飯能市役所別館 2階会議室

8月 9日(月)《締め切り》 参加申込み(正式/押印あり)…郵送で JHA 事務局へ

《締め切り》 参加料の入金

《締め切り》 宿泊・弁当申込み…Webにて 17:30 までに名鉄観光へ

8月 17日(火)《締め切り》「参加申込変更届(選手・チームスタッフ)」

…メールにて 17:00 までに大会実行委員会へ

8月 18日(水) 15:00～ **【監督会議】**オンラインで開催

8月 20日(金) 8:50～14:10 **【公式練習】** 阿須運動公園ホッケー場、駿河台大学ホッケー場

※**【参加受付】** 阿須会場にて大会参加受付を行います。

* 公式練習に参加するチームは、できるだけ 8/20 に大会参加受付を済ませてください。大会初日 8/21 の参加受付の混雑を緩和するよう、ご協力をお願いいたします。

* 大会参加受付では、**①**参加同意書の提出、**②**行動規範確認書の提出、**③** 2 週間の健康観察表の提出、**①**メンバーリストの確認、**②**当該チームに必要なIDカードの確認をお願いします。

8月 21日(土)**【大会 1 日目/予選リーグ】**

8:30～**【参加受付】** 男子:駿河台大学会場、女子:阿須運動公園ホッケー場会場

* 男女で受付会場が異なりますのでご注意ください。

* 混雑緩和のため、できるだけ前日(8/20)に参加受付を済ませるよう、ご協力をお願いいたします。

* 大会参加受付では、**①**参加同意書の提出、**②**行動規範確認書の提出、**③** 2 週間の健康確認表の提出、**①**メンバーリストの確認、**②**当該チームに必要なIDカードの確認をお願いします。

【会場入場時】チームはまとめて、「健康観察表(当日用)」を受付で提出し検温、手指消毒の後に係員の指示に従い入場してください。

17:30 頃**【決勝トーナメント抽選会】** 飯能市民体育館サブアリーナ

8月 22日(日)**【大会 2 日目/決勝トーナメント 1・2 回戦】**

【会場入場時】チームはまとめて、「健康観察表(当日用)」を受付で提出し検温、手指消毒の後に係員の指示に従い入場してください。

8月 23日(月)**【大会 3 日目/決勝トーナメント 準決勝・決勝】**

13:15 頃**【閉会式】** 阿須運動公園ホッケー場…当該チーム(1・2・3位)のみ参加

【会場入場時】チームはまとめて、「健康観察表(当日用)」を受付で提出し検温、手指消毒の後に係員の指示に従い入場してください。

◆監督会議

- ・オンライン(zoom)により、8月18日(水)15:00より1時間程度実施
- ・全チーム監督の参加義務(監督会議不参加での大会参加は認めない)
- ・アクセス情報



- ・チーム確認がしやすいよう、「学校名／男女の別」を表示してください。 例:「瑞穂中／男」

◆現地入りするにあたって

- * 大会会場入りするにあたって、新型コロナウイルス感染予防の観点から、居住地から大会開催地(飯能市)へ直行・直帰していただくようお願いいたします。(奨励事項)
 - ・・・例年、練習試合を現地入りする前にすることが慣例としてあるようですが、感染リスクを極力減らし大会を実施できるようご理解とご協力をお願いいたします。
- * 各ブロック大会で全国大会の出場権を獲得したが、都道府県もしくは市町村教委の指導などにより顧問(教員)が引率できなくなった場合、日本中体連では校長の認めた者(部活動指導員、外部指導者、保護者など)による引率も特例として認めている事例があります。このような事態が生じた場合、当該地区の中学校部会ブロック常任委員を通じて、中学校部会(事務局長:久保)にご相談ください。

◆参加受付

- ・監督会議をオンラインで行うため、参加受付を下記の通り行います。
- ①大会前日(公式練習当日)8/20(金)8:50~14:10に阿須会場にて
- ②大会当日 8/21(土) 男子:8:30~ 駿河台大学会場にて／女子:8:30~ 阿須会場にて
 - * 大会当日の参加受付は、男女で受付会場が異なりますのでご注意ください。
 - * 混雑緩和のため、できるだけ前日(8/20)に参加受付を済ませるよう、ご協力をお願いいたします。
 - * 大会受付では以下の3点を提出していただきます。3点の提出がもって受付完了といたします。
 - ①「参加同意書」・・・選手および選手外で引率してきた生徒全員分
 - ②「行動規範確認書」
 - ③「2週間の健康観察表」・・・選手および選手外で引率してきた全生徒に加え、監督、コーチ、手当者や代表者(校長)など、会場に入る全ての者について提出する
 - * 大会参加受付では、①メンバーリストの確認、②当該チームに必要なIDカードの確認をお願いします。
 - * 大会参加費の領収証も、こちらでお渡しします。

◆ベンチ

1. ベンチには今大会に「選手(12名以内)」「スタッフ(監督1名・コーチ1名以内)」としてエントリーし、日本ホッケー協会に「選手」または「チームスタッフ」として登録した者が入ることができる。
なお、「選手」「スタッフ(監督・コーチ)」は、別紙(第51回全日本中学生ホッケー選手権大会における「登録証」の活用について)に定めるとおり、『登録証』を持参してベンチ入りすること。
2. 「手当者」について
 - ・原則パンフレットに記載されている者 2名 (成人であること)
 - ・大会期間中に「手当者」を**変更することを認める。(全中大会における特別ルール)**
 - ・「手当者」は、実行委員会より配布される『手当者用IDカード』(各チーム2名分)を必ず持参すること。

・「手当者」については『JHAチームスタッフ登録』をしていなくてもよい。(来年度以降は登録を要する)

3. ベンチには、パンフレットに記載された者とTDが認めた者*が入ることを許可する。

*:「校長」「メンバーに入れなかった同性の3年生(体操服などユニホーム以外のそろいのシャツを着る)」等を認める。

「校長」「メンバーには入れなかった同性の3年生」とともに実行委員会が用意する「IDカード」を持参する。

ベンチ入りできるTDが認めた者の確認は監督会議の場で行う。

4. ベンチは対戦表の先(左側)のチームが、ジャッジ席から見て左側(赤色の印)のベンチに入る。

5. 試合ごとに消毒作業を行うため、ベンチへの移動は担当スタッフの指示に従う。

・消毒が終了しベンチ入りの許可が出るまで、次試合テントで待機する。

◆事前練習

・ウォーミングアップはウォーミングアップエリアで行う。

・試合前の定められた時間に、指定された練習エリアを使う。(目安:前々試合の後半～前試合前半終了)

・競技会場内は、安全のためボールを使った練習はプッシュによるパスまでとする。

・試合場での、試合開始前の事前練習については30分前から認める。

*ただし、競技役員の指示に従うことを条件とする。また、2試合目以降についても認めるが、試合開始前の集合に遅れないことを条件とする。(実際には2試合目以降の練習実施は難しい)

◆メンバーチェック等

1. スターティングリストの提出は行わず、メンバーチェックの際に監督から先発メンバーの申告をする。

*チームユニフォームが重複した場合、両チームの監督により、友好的な解決をお願いしたい!(事前確認を)

ただし、TO・アンパイアの判断により変更を求めることもあるので、必ずピッチに2着準備しておくこと。

*公式記録用紙の名前の訂正は、参加受付時に行う。(以降の訂正は認めない)

2. 各チームは、試合開始15分前までに次試合テントに待機していること。なお、各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点について確認・協力をお願いしたい。

・監督はスターティングメンバー6人(GK含む)の申告をする

・『登録証』(個別に持参/顔写真の添付)を用いてメンバーチェックを実施する

・選手の健康状況(明らかに熱中症の症状を呈する選手など⇒TOの判断で、試合に参加させない場合も)

・ヘアピン、腕時計等、アクセサリや金属の装着不可

・「スティックチェック」…規格に合っているか? JHA公認シールは? スティックの破損はないか?

*穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらう場合もある!

*最初の試合前に、リングパス及びスティックの破損状況など慎重にチェックする。

・GKのアンダーパットの装着

・「マウスガード」の装着

*メンバーチェック時に確認あり。「未着用届」が提出されている選手については、装着を免除。

・アンダーウェアは着用しない。

3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」も、試合開始前(メンバーチェック時)にTOの確認を受ける。

※今年度は、感染予防の観点から、使用する防具に使用者を特定する印や名前をつけておく。(確認)

◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始1分前に

「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》「センターであいさつ」～~~「握手」~~～「わかれ」

- ※感染予防の観点から「握手」などの身体接触は行わない。
- ※時間短縮のため、ジャッジ・相手チームへのあいさつは行なわなくてもよい。
- ※監督は、公式記録用紙のサインを速やかに行う。⇔スムーズな競技進行協力を！
- ※試合間にベンチの消毒作業が入るため、速やかに撤収するよう協力を！

◆競技中

1. 試合時間については、選手のコロナ禍における練習状況や感染予防対策に伴う時間を考慮し、5月の日本中学校部会第1回常任委員会の決定を踏まえ、下記の通り実施する。（JHA技術委員会の承認済）

《予選リーグ／大会1日目》

6分間の4クォーター制とし、第1・第3クォーターの後に1分間の休憩（コーチング可）、第2クォーターの後に5分間の休憩を設ける。（時間はオフィシャルテーブルで管理）

《決勝トーナメント／大会2・3日目》

前後半各15分で5分の休憩。休憩4分でホーン、5分で後半開始。

（4分間はしっかりテントで休憩を取ること／ホーンが鳴ったら速やかに準備を）

※決勝トーナメントにおいて、猛暑日の場合には、選手の健康面を考慮し、熱中症対応を行う場合がある。

そのことについては、監督会議の場で方向性を示す。

2. 全ての試合において延長戦はなし。決勝トーナメントについては、即SO戦を実施する。
3. PC時のフェイスマスクは、ゲームが途切れた時に、速やかにゴール裏に置くよう指導を。
4. フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作をはっきり行う。
5. リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。（安全第一）
6. 6人制ルールの確認（中学生）

○PCの後に、コート内に残っていた不要になった守備側選手の装具にボールが当たった場合には、サークル外ならFH、サークル内ならPCになる。

また、ボールがサークル内に残っていた装具に当たらなければ、おそらく得点になったであろう場合にはPSとなる

○コーナー、攻撃側の波線内の FH およびコーナー付近のサイドラインからの FH 再開位置について H27 より変更あり。・・・サークルから4m以内の FH 再開はそのポイントから。

LC については12mから⇒16m仮想ライン上からに変更。

○ハイスティック規則を廃止する。

○ PC 時におけるフライング（攻撃側・守備側）およびフェイントについては、罰則としてセンターラインに戻すルールが採用される。・・・攻撃側の反則はパッサーをセンターラインに戻す。

○退場（黄色カード）は2分。（時間の計測はジャッジ席）

○グリーンカードは警告のみ（退場はなし）

○給水タイムは原則採用しない。・・・猛暑日の対応については、監督会議の場でTDより方向性を示す。

○サークル 4m 以内での攻撃側 FH の場合、FH が即座に行われない場合はサークル内であっても 4m 離れる。（常に 4m 離れようとする指導を奨励／常任委員会において既確認事項）

○ PC 終了の条件から「サークル外に2回出る」の要件を削除。

○ PC 終了直後に速やかに行われる守備側 FH では、防具を外さずにパスを出すことが許される。（ただし、パスの 1 プレーが許されるだけであり、ドリブルすることは許されない。）

◎ GK の肘用防具については、覆わなくともよい。

◎ ブリーによる再開方法について、6人制についてもスティックの平らな面を軽く 1 回打ち合わせる方法とする。（11人制と同様の方法とする）

※上記◎は今年度より採用のルール変更。○は従来からのルールの再確認。

◆選手交代

- * 選手の交代は、ジャッジテント前中央付近の(ラインで明記)で行うが、交代する選手がコート外に出た後に新たな選手が入ること。

控え選手にビブスを着用させて待機させ、交代の際にビブスを受け渡す方法で交代をするチームがある。
この方法は、控え選手を明確にし、選手交代も正確かつ円滑に行われることから、良い方法として奨励される。

◆ベンチワーク

- * ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。

なお、今大会では、コーチングエリア(バルコニー／ラインで明記)を設けるので、立ち上がっての指導は、コーチングエリアを活用すること。「担当者」はコーチングはできない。

- * アンパイヤに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。

TOからカードにより、ベンチから退場もあり得る。

特に指導の必要な監督には、TDおよび中学校部会に対応する。

※全ての監督は「行動規範確認書」を参加受付で提出し、それに伴った行動責任を果たす。

◆SO戦(予選リーグの順位決定)

- * 予選リーグの順位をSOで決めなければならない時は、最終試合が早く終わったコートにて順位決定のためのSO戦を実施する。なお、詳細については、放送等により連絡する。

…SO戦時に残っていないチームは「不戦敗」となる。

◆決勝トーナメントの組合せについて

- * H27 年度より、決勝トーナメントの組合せは、予選リーグ終了後に抽選会を実施する。

・時刻: 予選リーグ終了後 (17:30 頃を予定)

・場所: 飯能市民体育館サブアリーナ(ホッケー場隣接)

(運営責任者: TD 馬場、立会人: UM 西松、中学校部会事務局長 久保)

- * 決勝トーナメントに進出する全チームの監督 or コーチまたはそれに代わる代表者(成人)が抽選会に参加すること。

… H26 第 2 回常任委員会での決定事項。ただし、やむを得ぬ理由により参加できない場合は「抽選会委任状」を提出することにより代理による抽選を行う。今年度は、コロナ感染予防の観点や宿舎が遠いこと理由から抽選会参加を控えることも十分想定される。

- * 決勝トーナメント1回戦は、予選リーグ1位チームと2位チームが対戦する組合せとする。

◆大会結果の配信

- * 下記、特設 HP サイトにて、大会結果をリアルタイムで掲載します。

(中学校部会の HP から、同じサイトが確認できます)

<http://www.hanno.ed.jp/cgi-bin/zenchu.hockey2021/topics1/topics.cgi>

- * 動画の配信についても、実行委員会で準備をしています。

(動画の案内については、実行委員会からお知らせいたします)

◆安全対策・負傷・事故発生時の対応について

- * 負傷により手当要請をした場合、2分間以上ベンチで静養する。(GKは除く) ⇔ ジャッジ席で計測
- * 顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。
- * GKが負傷した場合
 - ・GKなしのゲームは認めない。
 - ・控えのGKがいない場合、フィールドプレーヤーが防具を着装すること。
- * 救護所(室)
 - ・救護所を設置し、看護師等が常駐する。
 - ・また、重大事故発生時には、救急対応する。
 - ・AEDを各会場に設置する。
- * 負傷・事故報告書(ジャッジ席に配備)
救急車で搬送された場合、熱中症等で倒れるなど医師の診断を受けるような事故が発生した場合には以下の手順により、「負傷事故報告」の提出が義務づけられている。
 1. TOが監督に負傷事故報告書を渡す
 2. 医師等の診断
 3. 事故報告・経過報告・医師の意見を記入
 4. 記入された用紙をTOに渡す。→TD
 5. 試合が翌日の場合は、翌日にTOに用紙を渡し、経過説明。
 6. スターティングリスト提出時に、本人の健康確認をTOまたはTDが行う。

なお、事故と同一日に次の試合がある場合、無診察(素人判断のみ)での試合出場は認められない。
⇒【別紙】に従い安全第一の対応をお願いしたい。
- * 猛暑時の対応については、監督会議でTDより方向性を示す。当日の判断はTDが行う。
- * 近年の急な天候変化等により、緊急の監督会議招集やTD通知がある可能性があります。
その際は、ご協力をよろしくお願いします。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- (1) 本大会は、無観客により大会を実施する。
 - (2) 大会実行委員会が定める感染拡大防止ガイドラインに従うこと。
 - ・大会初日には、「大会参加同意書」及び「2週間前からの健康観察表(個別)」、「当日の健康観察表(チーム一覧)」等の提出を求める。
 - ・また、大会2日目・3日目は「当日の健康観察表(チーム一覧)」の提出を求める。
 - (3) 大会期間中に、選手や引率者に風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)や倦怠感、味覚臭覚異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず棄権とする。
 - (4) 大会期間中に、対戦した相手チームの選手や引率者に風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)や倦怠感、味覚臭覚異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず棄権とすることもあり得る。
- ※上記(3)(4)は、今年度の全中大会チーム競技に共通する規定である。

◆その他

*カメラマン(卒業アルバム等作成のためのチーム随行情カメラマン)について

- ・必ず受付を通ること。受付は「総合案内所」
- ・カメラマンが随行しているチームの確認 ⇒ この場(監督会議の場)で申告をする。
- ・必ず、撮影可能エリア内で、競技役員の指示に従い撮影すること。
- ・ジャッジ席および両チームのベンチの間を除く、防球ネットの外側から撮影する。(詳細は受付時に説明)
…ケガは撮影者の自己責任でお願いしたい。アンパイアの指示には必ず従うこと。
- ・試合開始のあいさつ時のみベンチ周辺での撮影も許可する。

*ベンチ内での撮影について

- ・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内(テント内)で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが(カメラ・ビデオともOK)、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。

当大会および競技に関して、何かございましたら、各チームの監督(顧問の先生)を通して、大会TDもしくは中学校部会事務局までご質問ください。

「負傷・事故報告書」の取り扱いと負傷者の試合続行に関する留意点

- ＊「負傷・事故報告書」の提出を要する事故とは
- ・救急車により搬送されるような事故
 - ・首から上の負傷は特に慎重に
 - ・出血を伴うような裂傷など、感染症の予防が必要と判断された場合
 - ・骨折など

負傷者の出たチーム (負傷者の監督)	負傷が発生したゲームTO 《負傷時TO》	負傷者の次試合のゲームを 担当するTO 《次試合TO》
=ゲームの終了= ②当該ゲームのTOから「負傷・事故報告書」を受け取る 医師の診断を受ける 「負傷・事故報告書」には、医師の診断内容等を正確に記入し《負傷時TO》もしくは《次試合TO》に提出する。 ・医師が試合続行が可能と診断した場合のみ、当日の試合に出場することができる。 ・医師の診断により続行不可となった場合、本人・監督等の希望があっても当日の試合に出場することは認めない。	①「負傷・事故報告書」の準備 事故報告 ②ゲーム終了後に、負傷者の出たチームの監督に「負傷・事故報告書」の提出を求める。 事故報告 ③負傷者の出たチームの次試合が本日中にある場合《次試合TO》に負傷者が出た旨を伝達する。 ⇔ ④負傷したチームから、「負傷・事故報告書」が届けられた場合、負傷の様子を確認後《次試合TO》に参加の可否を伝える。 事故報告	③担当試合に、前試合で負傷した選手が居ることを把握する ⑤負傷した選手の居るチームの試合開始前に、当該選手の参加について確認する。 参加する場合は「負傷・事故報告書」の提出を求め、負傷の様子を確認後、正式に参加できるか判断する。 事故報告
負傷後（当日2試合目）のゲーム		
	⑦競技役員ミーティングにて事故の詳細について報告する。 ⑧「負傷・事故報告書」にサインしTDに提出する。 事故報告	⑥受け取った「負傷・事故報告書」は、当日、ミーティング前に《負傷時TO》に引き継ぐ。

第51回全日本中学生ホッケー選手権大会における「登録証」の活用について

今大会テクニカルデリゲート：馬場治男

平成27年度より、(公社)日本ホッケー協会(以下 JHA)では「登録証」を迅速に発行し、大会等で活用することとなっています。

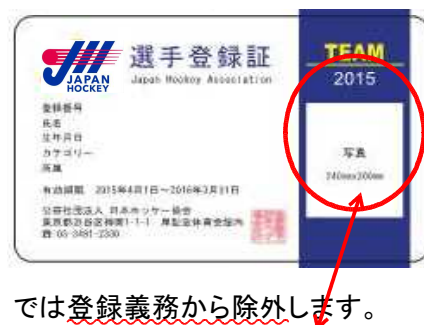
日本中学校部会でも、第45回全日本中学生ホッケー選手権大会(新潟大会)から、選手およびチームスタッフ(監督・コーチ)について「登録証」を、下記の要領で活用しています。

1. JHA に登録をしていないチーム(「選手」「チームスタッフ」)は、当大会に参加できません。

「登録証」には、本人確認ができるよう、必ず写真を貼付してください。

なお、本来は「手当者」も登録が義務づけられていますが、全国スポ少大会および全日本中学選手権大会では「手当者」については各チームの事情を考慮し緩やかな対応をとっているため今大会では登録義務から除外します。

写真を貼付



2. 選手・チームスタッフ(監督・コーチ)は大会期間中(会場内では)、「登録証」を持参することとします。

ただし、2015.6/25 付で JHA 競技部長からの通達にもあるよう、小・中・高校生については、紛失を防ぐため監督等がチームで一括管理することも許されていますが、今大会では感染リスク軽減のため個人で管理することを奨励します。

3. 試合前のメンバーチェックの際に、ゲームTO等により「登録証」を用いたメンバーチェックをします。

【「登録証」を用いたメンバーチェックの手順】

- 1) TOから「背番号」を呼ばれたら、
- 2)「登録証」の写真貼付面を提示して
- 3)「氏名(フルネーム)」を大きな声で答える

※従来のメンバーチェックと比較して
時間的には大差は無い

4. 万一、「登録証」が届いていなかったり紛失した場合には下記のように対応します。

- ・「登録証」が届いておらず持参できない場合には、JHA に入金した証等を持参してください。
⇒参加受付で申し出たものについて、登録確認を行いTDが「登録証明書」を発行します。
- ・紛失した者についても、参加受付で申し出たものについてTDが「登録証明書」を発行します。
- ・洗濯をしてしまった場合には、その「登録証」(ボロボロでも)を使っただいて結構です。
⇒使用不可のものについては、開会式後に「登録証明書」を発行することも可能です。
- ※なお、「登録証明書」の発行については、JHAの事務手続き等の不備によるもの以外は、発行手数料として1枚につき500円を徴収いたします。

5. 「登録証」の保管・管理については各チームの監督の責任でお願いします。

- ・カードケース(首から吊せるタイプ)に入れることをお勧めします。
- ・監督・コーチ・選手の全てが、大会期間中は常に持参するようご協力願います。

スムーズな運営にご協力をお願いします

2019年4月8日

都道府県ホッケー協会 殿
都道府県競技部長・審判部長 殿
日本社会人ホッケー連盟 殿
日本学生ホッケー連盟 殿
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 殿
中学校部会 殿
スポーツ少年団部会 殿
ホッケー日本リーグ機構 殿
公認競技役員 殿

公益社団法人 日本ホッケー協会
技術委員会 委員長 真 喜代司

PC直後のフリーヒット時の防具取り外し制限の変更について（通知）

平素より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、2月に開催いたしました全国ルール統一研修会におきまして、平成31年度国内大会に適用する新規則について説明させていただきましたが、標記の件につきまして追加変更いたしますので通知させていただきます。

関係各位におかれましては、ご理解の上、適切に対応くださいますようお願いいたしますとともに、貴管下関係者に周知徹底を図ってくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1 変更事項

ペナルティコーナー終了時、守備側にフリーヒットが与えられて、速やかにフリーヒットを行う場合に限り、ペナルティコーナーの守備のために着用していたフェイスマスクやその他の防具は、取り外すことなく実施することができる。

2 上記変更点の留意事項

ペナルティコーナーの守備のために着用した防具は、できるだけ速やかに取り外さなければならないが、「直ちに行われる守備側のフリーヒットで、味方にパスをする場合に限り、防具を取り外さないで実施することができる」ということです。

したがって、フリーヒットを行うプレイヤー自身がドリブルをするときに防具を取り外していない場合は、罰則が適用されます。

3 その他

この規則の適用は、本通知を行った日、平成31年4月8日から適用いたします。

※ このことについて何かありましたら、下記まで問い合わせください

公益社団法人 日本ホッケー協会 技術委員会 規則検討室長 平尾 豊

TEL 090-7372-0054

Eメール a54_hirao@yahoo.co.jp